

② [1]心理学

…非合理性や無意識に注目

←近代の人間観を批判

(1) [2] (オーストリア) — 自由連想法、夢判断 etc.

1 無意識の存在を発見

a 精神分析学の創始 cf. 「心の外科医」

ex. 神経症 (ノイローゼ) の治療

b [3] 機制を明らかにする

ex. 合理化 (「すっぱいブドウ」)、昇華 (失恋 → 詩作)

2 心の三層構造

a [4] (エス) … 無意識にある本能的な欲求

cf. [5] (性の本能) がエネルギー源 = 「快感原則」

エロスのこと。タナトス (死の本能) と表裏一体

b [6] (自我) … 意識 (他者と区別) された自分

→ 「現実原則」により a と c を調整 (まだ自己中心的)

c [7] (超自我) … 躰^{しつけ}や経験で育つ道徳心

→ 自我を監督する良識になる (これで社会性が育つ)

but これが強すぎるとフラストレーション (欲求不満) を無意識下に抑圧し、
不適応が起こることもある

ex. [8] = コンプレックス (父を憎み、母を愛する息子)

固定概念や強迫概念

(2) [9] (スイス) — 言語連想法 etc.

1 フロイトの性理論を批判

a 抑圧の原因は性以外にもある

b リビドーは心的エネルギー全体

2 [10] 的無意識の発見 ← 仏教・道教・ヒンドゥー教 etc. の体験と神話の研究

… 全ての人間が共有する [11] (アーキタイプ)

ex. [12] (男性の心に住む女性の魂) ↔ アニムス (女性の心に住む男性の魂)、
グレート = マザー ([13])、[14] (隠された自分)

3 物 (身体) と心 (精神) の結合

4 西洋的知性と東洋的感性の統合

5 人間を心理学的に類型化 … [15] 的 ↔ [16] 的

MEMO etc.